

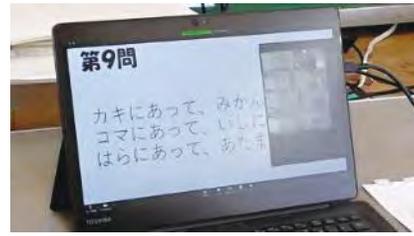
「学びを止めない！これからの遠隔・オンライン教育」 普段使いで質の高い学び・業務の効率化へ

掲載例



児童生徒とつながる・児童生徒同士がつながる ～オンラインでホームルーム・健康観察で会話する機会を確保～

・毎日決まった時間にWeb会議システム上に集まって教員や生徒がお互いの顔を見ながら話をしたり、健康観察を行いました。教員や児童生徒同士が顔をあわせて会話する機会は大きな安心につながり、生活リズムの安定にもつながります。



高森町立高森中学校では、Zoomを活用し毎朝20分間程度のオンライン健康観察を行いました。身近に時間の中で交流できるよう、体操やクイズを行う等の趣向を凝らした活動も行われました。

学びを止めない ～オンラインでの学習支援で児童生徒に寄り添う学習～

・Web会議システムを用いて、教員と各家庭をつないだ遠隔学習が行われました。時間割に従って実施したり、教わりたいことがある児童生徒だけが個別につないで学習支援を受けたりするなど、様々な形態で実施できます。



高森町立高森東学園義務教育学校では、Zoomを使ったオンライン学習を行いました。画面共有したりカメラで黒板を映したりしながら資料を提示し、通常の授業と同じように学習を進めました。児童生徒は分からないことがあればチャットで質問したり、学習後に自由接続の時間を設けて個別に指導するなどの対応も行われました。

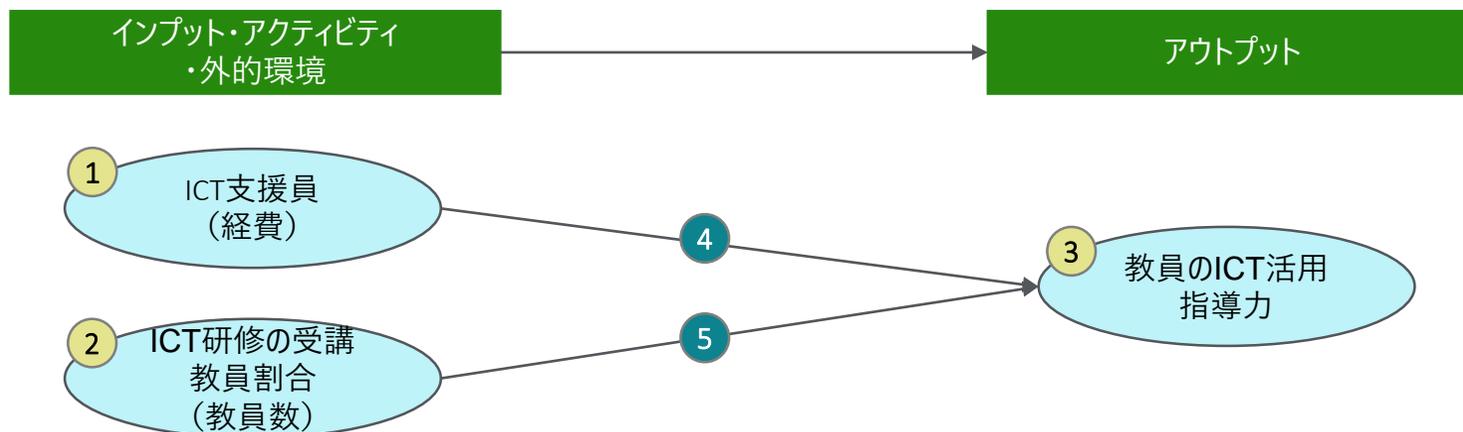
主な掲載内容

- ・**学びを止めない遠隔・オンライン教育**
具体的な取り組み
- ・Withコロナ・ポストコロナにおけるICT活用
- ・ICT機器やシステム等の環境整備・準備
- ・遠隔教員研修 など
- ・**新型コロナウイルス感染症による臨時休業中の取組等を紹介**

対象検証仮説と利用可能な単位データ（学校分類）に基づき、現状のICT能力支援活用状況と教員のICT活用指導力との関係性を記述統計的に把握した

現時点の分析内容

- 現状把握** ICT支援員の活用状況とICT研修の受講状況、教員のICT活用指導力について、現状把握を行う ① ② ③
- 関係性分析** 仮説No.2、4に基づいて、ICT支援員およびICT研修と、教員のICT活用指導力との関係性を分析する ④ ⑤



ICT支援員	①	支援員の配置状況（市区町村別の支出額）
	④	ICT支援員×教員のICT活用指導力
ICT研修	②	研修受講割合（教員数割合）
	⑤	ICT研修の受講教員割合×教員のICT活用指導力
教員のICT活用指導力	③	教員のICT活用指導力のと道府県別水準、市区町村規模別水準

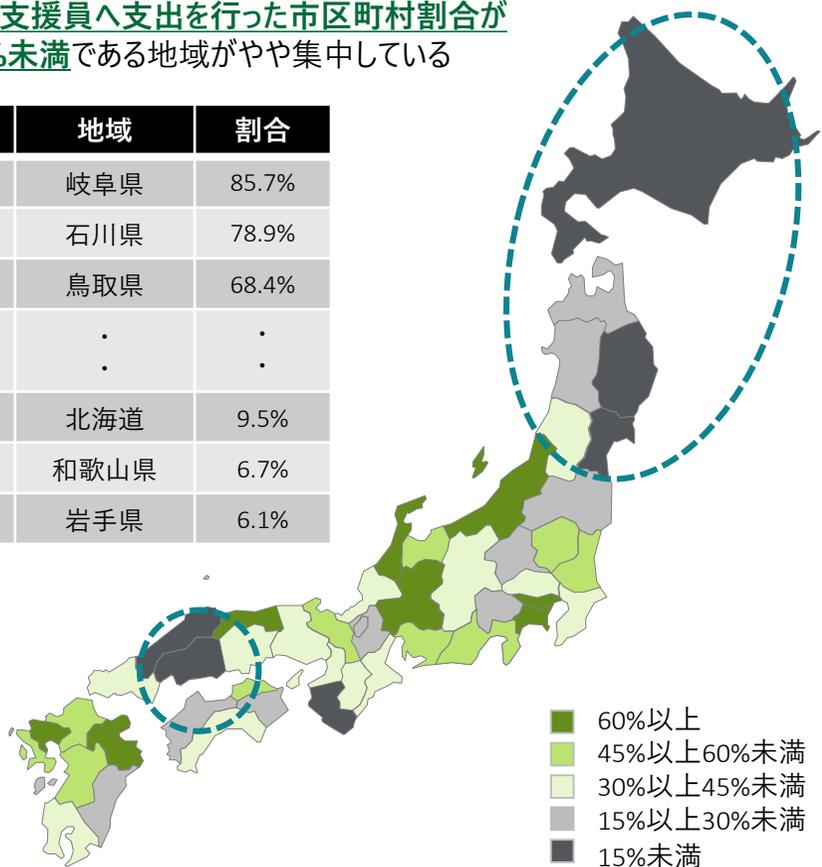
小学校・中学校ともに、都道府県間でICT支援員へ支出を行った市区町村割合の差が大きい。また、割合が低い地域は北海道・東北地方や中国・四国地方にやや集中している

ICT支援員へ支出を行った市区町村割合（令和元年度）

小学校

- 北海道・東北地方や、中国・四国地方にICT支援員へ支出を行った市区町村割合が30%未満である地域がやや集中している

#	地域	割合
1	岐阜県	85.7%
2	石川県	78.9%
3	鳥取県	68.4%
⋮	⋮	⋮
45	北海道	9.5%
46	和歌山県	6.7%
47	岩手県	6.1%



中学校

- 北海道・東北地方や、中国・四国地方に、ICT支援員へ支出を行った市区町村割合が30%未満である地域がやや集中している

#	地域	割合
1	石川県	78.9%
2	岐阜県	78.6%
3	大分県	72.2%
⋮	⋮	⋮
45	北海道	9.5%
46	岩手県	9.1%
47	和歌山県	3.3%

